

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	2-	2
事業名	広報広聴経費	
	会計	款
	一般	2
		1
		2
施策	6	語らいのあるまち
	6-1	町民参画のまちをつくる
	6-1-1	協働によるまちづくりの推進
主要施策	②広報・広聴活動の充実	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民が町政に関する情報を、適切な時期に取得することができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の発行…毎月1回の「広報とういん」の発行 ・ 町民カレンダー作成…1年間を通じた行事を掲載したカレンダーの各戸配布 ・ ホームページ、メール配信サービス…町のホームページ、行政情報のメール配信 ・ 行政情報番組放送…プラムチャンネル、旬感みえへの出演、デジタルサイネージシステム ・ 町政懇談会の実施…各自治会毎での懇談会の開催 			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1	町ホームページ閲覧件数	256,759	262,021	359,983	件		260,000
2	メール配信サービス登録者数	2,603	2,779	2,836	人		2,600	
3								
4								
5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B					33,531		44,840	
財源内訳	直接事業費 A				33,531		37,850	
	うち一般財源				33,531		37,850	
人件費(千円) B					0		6,990	
内訳	一般職員(人・千円)				0		0.95	
	臨時職員(人・千円)				0		0.4	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画	全町民が町政の情報を的確な時期により効率的に取得できるよう手段の見直しを行う。	③取組の課題	目的の確認とそれに向けた事務事業の検証を行い、より効率的で目的の効果が上がるものとなるよう検討が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	全町民が町政に関する情報を、定期的にまたはすばやく取得することができることにより、町民への適切な行政サービスの提供と町民参画を推進する。	④今後の改善計画	広報の方法としての行政番組テレビのインターネットを活用した手段への検討を行う。